

## ほじょ犬の種類

### 盲導犬

目に障がいのある人が街中を安全に歩けるようにサポートします。障害物を避けたり、曲がり角や段差を教えたりします。

ハーネス（胴輪）を付けていて、「盲導犬」と表示しています。

### 聴導犬

耳に障がいのある人に、生活の必要の音を知らせます。玄関のチャイム音・ファクス着信音・赤ちゃんの泣き声・車のクラクションなどを聞き分けて教えます。

「聴導犬」と表示しています。

### 介助犬

手足や体の一部に障がいのある人の日常生活動作をサポートします。物を拾って渡したり、指示したものを持ってきたり、着替えを手伝ったりします。

「介助犬」と表示しています。

ペットではなくからだの一部です

ほじょ犬は、「身体障害者補助犬法」に基づき認定された犬で、特別な訓練を受けています。障がいのある人にとってペットではなく、パートナーであり、体の一部です。きち

もっと知って。ほじょ犬のこと。



ほじょ犬(身体障害者補助犬)とは、目や耳、手足に障がいのある人をお手伝いする犬のことです。

今回は、身体障害者補助犬法に基づき訓練・認定されているほじょ犬について、紹介します。

◎問い合わせ 福祉課 ☎23-2980

んと訓練され管理も行われているので、社会のマナーも守ることができ、清潔です。

ほじょ犬は、体に障がいのある人の自立と社会参加を助けています。



ほじょ犬を受け入れる施設の人へ

ほじょ犬は、ほじょ犬使用者の指示に従い待機することができるので、特別な設備は必要ありません。

ほじょ犬の同伴を受け入れる際に他の利用者から苦情があった場合は、「身体障害者補助犬法」で受け入れ義務があること、ほじょ犬の行動や健康管理はほじょ犬使用者が責任を持って行っていることを説明し、理解を求めてください。

規定の表示をしていない場合や認定証・使用者証の提示がない場合は、受け入れの義務はありません。認定証の確認のために声を掛けることは、ほじょ犬使用者に対して失礼には当たりません。

ほじょ犬使用者と施設を利用する他の人の両者が気持ち良く利用できるよう、個別説明やポスターなどを掲示し、互いに理解し合える工夫をしましょう。

どこでもいっしょに行動します

公共施設をはじめ、さまざまな場所ではほじょ犬を受け入れることが、「身体障害者補助犬法」で義務付けられています。「犬だから」という理由で受け入れを拒否せずに、温か

### ほじょ犬への接し方

- ・食物を与えないようにする
- ・気を引く行為は避ける
- ・温かく見守る

く見守ってください。

